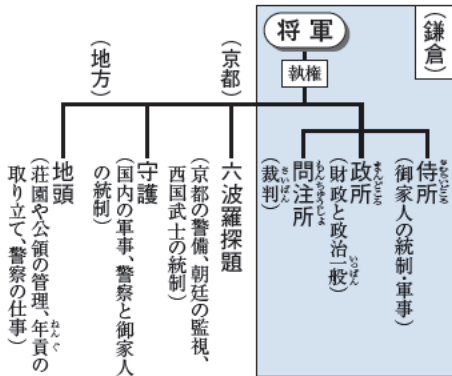




みな心をつにして聞きなさい。頼朝
どの殿が平氏を征伐し、幕府を開いて以降、
その御恩は山よりも高く、大海よりも深
いものです。お前たちも御恩に報いる気
持ちはあるでしょう。ところが今、執権
北条義時を討てという命令が、朝廷から
出されました。名譽を重んじる者は、源
氏三代の将軍が築き上げたものを守りな
さい。上皇方につきたいと思う者は、今
すぐ申し出なさい。

- 一 諸国の守護の仕事は、御家
人の京都を守る義務を指
揮・催促すること、謀叛や
殺人などの犯罪人を取りし
まることである。
- 一 地頭は荘園の年貢をさしお
さえてはいけない。
- 一 20年以上継続してその地を
支配していれば、その者の
所有になる。

▲A 鎌倉幕府のしくみ

▲B 北条政子の演説(「吾妻鏡」より一部要約)

▲C 御成敗式目(貞永式目一部要約)

1 鎌倉幕府の政治(図表のワーク①～⑧)教科書 P.72・73

- 平氏の滅亡…源頼朝は弟の源義経を派遣し、1185年、壇ノ浦の戦い(山口県)で平氏を滅ぼした。
- 守護・地頭…頼朝は義経をとらえることを口実に国ごとに守護、荘園や公領に地頭を設置。御家人を配した。
奥州藤原氏を、義経をかくまっただとして攻め滅ぼした。
- 鎌倉幕府…1192年、頼朝は征夷大將軍に任じられた。鎌倉に武士の政権(鎌倉幕府)をたてた→鎌倉時代。
- 御恩と奉公…御家人は將軍から領地を公認・保護され、京都・鎌倉の警備や戦いのときは命がけで戦った。
- 執権政治…頼朝の死後、北条氏が執権となって政治を行った。
 - 承久の乱…1221年、後鳥羽上皇が倒幕をはかったが失敗。幕府は京都に六波羅探題を設置して朝廷を監視。
 - 御成敗式目(貞永式目)…1232年、北条泰時が律令とは別に武家法をまとめる→武士の政治のよりどころ。

2 鎌倉時代の人々の暮らし(図表のワーク②⑤～⑦)教科書 P.76・77

- 武士と農民…武士は武芸にはげみ、戦いのときは惣領を中心に行動した。領地は、女性も含め分割相続された。農民は年貢を荘園領主に納めたが、地頭との二重支配を受けた。
- 産業の発達…牛馬耕や二毛作、商品作物の栽培。定期市が始まり、輸入した貨幣(銅銭・宋銭)が使われた。
米の裏作に麦をつくる 桑や漆、茶など 貨幣の流通で、高利貸しも出現

3 鎌倉時代の文化と仏教(図表のワーク③④⑤⑥⑦⑧)教科書 P.78～81

- 鎌倉時代の文化…武士や民衆が担った文化。
 - 文学…琵琶法師が軍記物語の「平家物語」を広めた。「新古今和歌集」や、鴨長明の『方丈記』、兼好法師の『徒然草』などの随筆集。
 - 美術…運慶・快慶らの金剛力士像など。
- 鎌倉仏教…武士や農民・公家などにも広まった。特

宗派	開祖	特徴
浄土宗	法然	阿彌陀仏を信じて念仏をとる
浄土真宗(一向宗)	親鸞	罪を自覚した悪人こそが救われる
日蓮宗(法華宗)	日蓮	法華経だけが仏の真実の教え
時宗	一遍	踊念仏を通し、念仏をすすめる
臨済宗	栄西	禅宗(座禅によってさとりを開く)
曹洞宗	道元	

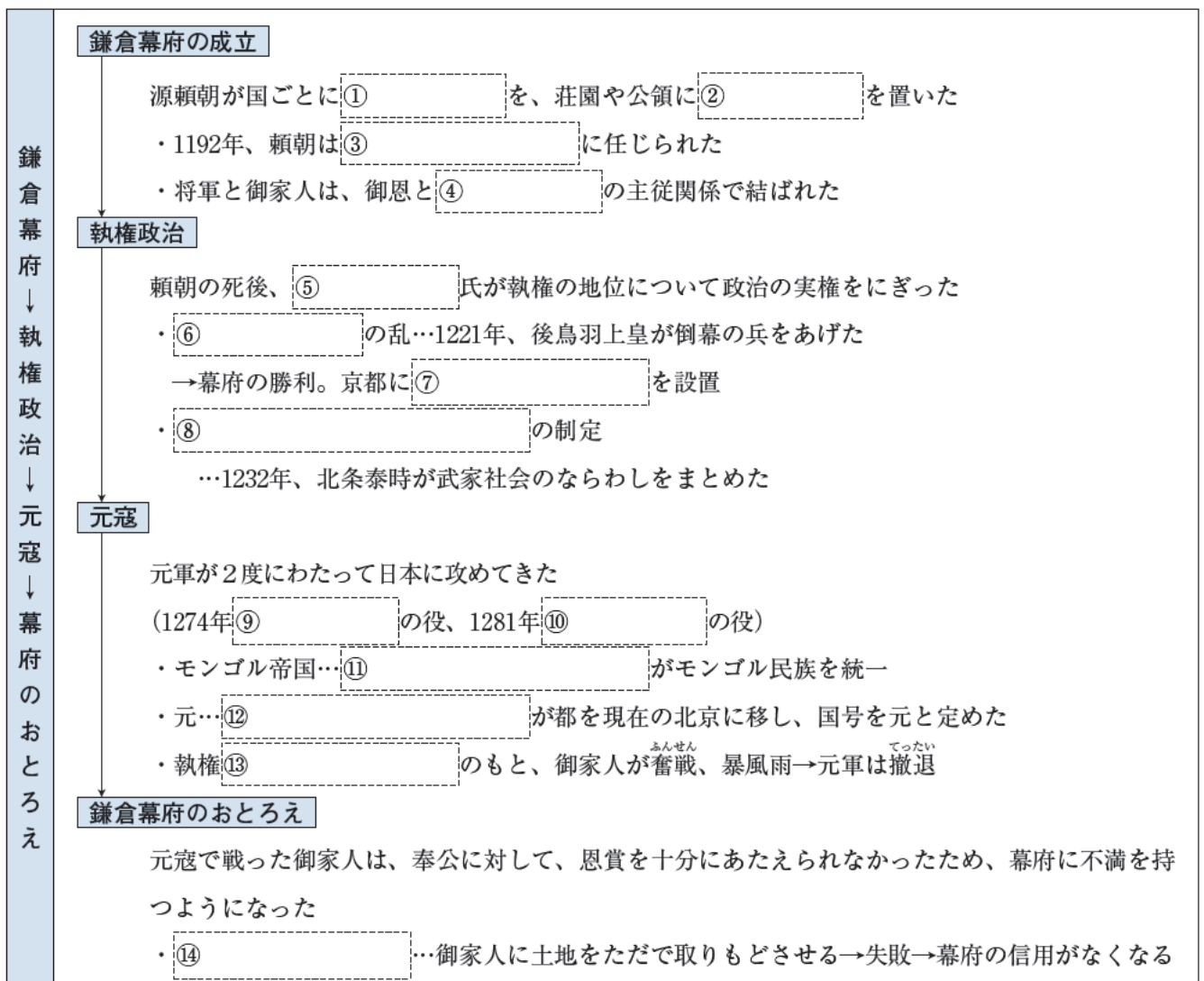
▲D 鎌倉仏教

- に、禅宗は鎌倉幕府の保護を受けた。神仏習合思想が広がり、神道思想も誕生。
日本古来の神と仏は本当は同じ

4 元の襲来と鎌倉幕府(図表のワーク⑨～⑭)教科書 P.82～84

- モンゴル帝国…13世紀初め、チンギス=ハンが建国。その後、フビライ=ハンが都を大都(今の北京)に移して国号を元と定める。1279年に宋を滅ぼし中国全土を統一。
- 交易…モンゴル帝国の成立で、交易路が整備されてアジアとヨーロッパの交易がさかんになった。
イスラム教徒(ムスリム)の商人が担う
- 元寇…元は高麗をしたがえ、2度にわたり九州北部に攻めてきた(1274年 文永の役、1281年 弘安の役)。
元の武力を背景とした国交の要求を北条時宗は拒否した
執権北条時宗のもとに結束した幕府軍ははげしく戦い、また、暴風雨などもあって元軍はしりぞいた。
- 鎌倉幕府のおとろえ…幕府は御家人に(永仁の)徳政令を出したが効果は一時的で、幕府は信用を失った。
恩賞を十分にあたえられず、幕府に不満を持ったことや土地の分割相続などにより領地が減少していた

学習のまとめを見て
図表を完成させよう



▼鎌倉時代の文化と仏教、産業の発達

文学	『⑮』…軍記物語 琵琶法師が広める	美術・建築	えまきもの 絵巻物…戦いや寺社の歴史など ⑲ …宋の建築様式 金剛力士像 ⑳・快慶らの作
	『⑯』…和歌集 『方丈記』…鴨長明の随筆 『⑰』…兼好法師の随筆		
仏教	⑱…法然	産業	農業 …牛馬を使った耕作や、 裏作に麦をつくる⑳が広まる 桑や漆などの㉑の栽培 ㉒…宋銭の使用。高利貸しが出現
	⑲…親鸞		
	⑳…日蓮		
	㉑…一遍		
	㉒…栄西・道元		

確認問題

→類題演習 P.104

① 鎌倉幕府の政治 次の問いに答えなさい。

- (1) 1192年、征夷大將軍に任じられ、鎌倉幕府を開いた武士はだれか。 ()
- (2) (1)と主従関係を結んだ武士を何というか。 ()
- (3) (2)が京都・鎌倉の警備にあたり、御恩の代わりに命がけで戦ったりしたことを何というか。 ()
- (4) 地方の国ごとに置かれ、軍事・警察などの仕事をした役職を何というか。 ()
- (5) 荘園や公領に置かれ、年貢の取り立てなどを仕事とした役職を何というか。 ()
- (6) 源氏の將軍が絶えたのち、執権の地位について政治を行ったのは何氏か。 ()
- (7) 1221年、幕府を倒そうとして兵をあげた上皇はだれか。 ()
- (8) (7)のできごとを何というか。 ()
- (9) (8)のあと、朝廷の監視などのため、幕府が京都に設けた機関を何というか。 ()
- (10) 1232年、(6)の一族が、朝廷の律令とは別につくった独自の法を何というか。 ()

② 鎌倉時代の人々の暮らし 次の文中の□□□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 鎌倉時代には、裏作に麦をつくる□□□□が広まった。 ()
- (2) 鎌倉時代には、桑や漆、茶など、原料や商品として売る□□□□作物の栽培も始まった。 ()
- (3) 商業がさかんになると、寺社の門前や交通の便利な場所で□□□□が開かれるようになった。 ()
- (4) 鎌倉時代の農民は、荘園領主と□□□□から二重の支配を受けた。 ()

③ 鎌倉時代の文化と仏教 次の問いに答えなさい。

- (1) 琵琶法師によって広められた軍記物語は何か。 ()
- (2) 鎌倉時代にまとめられた和歌集を何というか。 ()
- (3) 兼好法師が書いた随筆を何というか。 ()
- (4) 阿弥陀仏の救いをただ信じて念仏をとえよ、と説いて浄土宗を開いた僧はだれか。 ()
- (5) 罪を自覚した悪人こそが救われる、と説いた親鸞が開いた仏教の宗派は何か。 ()
- (6) 法華経だけが仏の真実の教えである、と説いて日蓮宗(法華宗)を開いた僧はだれか。 ()
- (7) 鎌倉幕府に保護された、座禅によって自分でさとりを開く仏教の宗派を何というか。 ()

④ 元の襲来と鎌倉幕府 次の問いに答えなさい。

- (1) 13世紀の初めにモンゴル民族を統一し、モンゴル帝国を築いたのはだれか。 ()
- (2) フビライ＝ハンが、都を今の北京に移して建てた国を何というか。 ()
- (3) (2)の軍が2度にわたって日本に襲来したできごとをまとめて何というか。 ()
- (4) (3)のとき、鎌倉幕府の執権の地位についていた人物はだれか。 ()
- (5) (3)のあと、生活苦で領地を手ばなした御家人に対し、幕府が出した法令を何というか。 ()

練習問題

1 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

源義経^{げんぎよつね}が平氏を倒したあと、は征夷大將軍に任じられた。その死後は、北条氏が実権をにぎった。源氏の將軍が絶えたとき、ある上皇^{とうばく}が倒幕の兵をあげたが、敗れて隠岐^{おき}へ流された。この乱のあと、幕府は京都に機関^{きかん}を設け、朝廷や西国の武士を監視させた。また、武家社会のならわしをまとめ裁判などの基準を定めた法律を制定した。

- ☐ (1) 下線部①について、源義経をとらえるために朝廷に認めさせた、国・荘園や公領ごとに置いた役職を2つ答えなさい。
- ☐ (2) にあてはまる人物はだれか。
- ☐ (3) 下線部②について、北条氏は、代々何という役職についたか。
- ☐ (4) 下線部③について、①このできごとの名と、②「ある上皇」の名を答えなさい。
- ☐ (5) 下線部④にあてはまる機関の名を答えなさい。
- ☐ (6) 下線部⑤について、1232年に北条泰時が定めた武家法を何というか。

2 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

鎌倉時代には、農業の技術が進歩した。また、新しい仏教の動きが見られ、公家^{くけ}を中心とした文化に加え、武士や民衆が担った文化が発達した。13世紀後半には、2度にわたって元軍^{げんぐん}が襲来し、幕府をおそった。結束した幕府ははげしく戦い、暴風雨などもあって元軍はしりぞいたが、恩賞^{おんしょう}を十分にあたえられなかった御家人は幕府に不満を持ち、幕府は信用を失った。

- ☐ (1) 下線部①に関連して、農民が荘園領主に納めたもの(税)を何というか。
- ☐ (2) 下線部②について、次の表中の①～③にあてはまる人物名や語句をそれぞれ答えなさい。

宗派	開祖	特徴
浄土宗	①	阿弥陀仏を信じて念仏をとえよ
②	親鸞	悪人こそが救われる
日蓮宗(法華宗)	③	法華経だけが仏の真実の教えである

- ☐ (3) 下線部③のうち、このころ禅宗^{ぜん}を伝えた人物を2人答えなさい。
- (4) 下線部④について、次の問いに答えなさい。
- ☐ ① 鎌倉時代につくられた和歌集^{わかしゅう}を次から選び、記号で答えなさい。
ア『万葉集^{まんようしゅう}』 イ『古今和歌集^{こきん}』 ウ『新古今和歌集』
- ☐ ② 軍記物語の『平家物語^{へいけものがたり}』を語り広めた人々を答えなさい。
- (5) 下線部⑤について、次の問いに答えなさい。
- ☐ ① 御家人はこのほかにも、支配する土地の減少^{こんしゅう}で困窮する者もいた。困窮の原因となった相続方法を何というか。
- ☐ ② このとき幕府が御家人の生活を改善させるために出した法令を何というか。

1 単語のすゝめ ①

- (1) _____、
- (2) _____
- (3) _____
- (4) ① _____
- _____ ② _____
- (5) _____
- (6) _____

2 単語のすゝめ ②～④

- (1) _____
- (2) ① _____
- _____ ② _____
- _____ ③ _____
- (3) _____
- _____
- (4) ① _____
- _____ ② _____
- (5) ① _____
- _____ ② _____

Key プラス

1 右の年表を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 下線部Xがおきた場所の現在の県名を、答えなさい。
- (2) Aについて、征夷大將軍となつた源頼朝が開いた鎌倉幕府の様子について述べた次の文中の□①～□③にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

年代	できごと
1185	X だんのうら 壇ノ浦の戦いで平氏が滅びる
1192	源頼朝が征夷大將軍になる……A
1221	承久の乱がおこる………B
1274	文永の役がおこる } ……C
1281	弘安の役がおこる }
1297	永仁の徳政令が出される………D

鎌倉幕府の將軍にしたがっていた武士を□①といい、將軍から領地を公認・保護されていた。これを□②という。その代わりに□①は、將軍に忠誠をちかい、いざ戦いというときには、命がけで合戦に参加した。これを□③という。鎌倉幕府とのあいだで、このような主従関係で結ばれた武士が農民を支配する社会を封建社会とよぶ。

- (3) Bについて、後鳥羽上皇がこの乱をおこした目的を、簡単に答えなさい。
- (4) Cについて、この2つの戦乱がおこった原因を、簡単に答えなさい。
- (5) Dのあと、幕府と武士との関係はどうなったか答えなさい。

2 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

鎌倉時代には、公家以外にも武士や□にわかりやすい ^a文化や ^b仏教が発達した。

鎌倉時代の中ごろになると、^c農業技術が進歩し、^d農業生産が高まるとともに、商業もさかんになり、貨幣も広く使われるようになった。

- (1) □にあてはまる語句を答えなさい。
- (2) 下線部③について、次の問いに答えなさい。
- ① 右の人物は「平家物語」を広めた人物である。この人物のような人々を何というか。
- ② 「平家物語」と同じ時代に、次の文学作品を書いた人物名をそれぞれ答えなさい。
- A 『^{ほうじょうき}方丈記』 B 『^{つれづれぐさ}徒然草』
- (3) 下線部⑥について、鎌倉幕府の保護を受けた禪宗が広まった理由を「気風」という語句を用いて、簡単に説明しなさい。
- (4) 下線部⑦について、この時代に行われるようになった、^{いね}稲(米)の裏作として麦などをつくる農業を何というか。
- (5) 下線部⑧について、①この時代につくられた茶や漆などの原料や商品として売る作物をまとめて何というか、②寺社の門前などで開かれた、作物が取り引きされた場所の名前、③②で使用された貨幣の名前をそれぞれ答えなさい。

1 の答え

- (1) _____
- (2) ① _____
- ② _____
- ③ _____
- (3) _____
- _____
- (4) _____
- _____
- (5) _____
- _____

2 の答え

- (1) _____
- (2) ① _____
- ② A _____
- B _____
- (3) _____
- _____
- (4) _____
- (5) ① _____
- ② _____
- ③ _____

ここで得点アップ!

1 次の資料を見て、問いに答えなさい。

史料Ⅰ

みな心を一つにして聞きなさい。頼朝殿が平氏を征伐し、幕府を開いて以降、その御恩は山よりも高く、大海よりも深いものです。お前たちも御恩に報いる気持ちはあるでしょう。ところが今、執権北条義時を討てという命令が、朝廷から出されました。名誉を重んじる者は、源氏三代の将軍が築き上げたものを守りなさい。上皇方につきたいと思う者は、今すぐ申し出なさい。

(1) 史料Ⅰは、北条政子が行った演説である。史料Ⅰについて、次の問いに答えなさい。

- ① 源頼朝の死後、頼朝の妻であった北条政子の実家である北条氏が幕府の実権をにぎった。北条氏がある役職に代々ついて行った政治を何政治というか。 □()
- ② 史料Ⅰの演説は、承久の乱のときに行われた。承久の乱をおこした中心人物はだれか。 □()
- ③ 承久の乱後、幕府は朝廷を監視するためにどのようなことを行ったか。「京都」という語句を用いて簡単に答えなさい。 □()

史料Ⅱ

- 諸国の守護の仕事は、御家人の京都を守る義務を指揮・催促すること、謀叛や殺人などの犯罪人の取りしまりである。
- 地頭は荘園の年貢をさしおさえてはいけなさい。
- 20年以上継続してその地を支配していれば、その者の所有になる。

(2) 史料Ⅱは、1232年に定められた法律である。この法律名と、法律を定めた人物名をそれぞれ答えなさい。

□法律名() □人物名()

(3) 資料Ⅲは、元寇を描いたものである。資料Ⅲについて、次の問いに答えなさい。

- ① 元寇とは、元軍が2度にわたって日本に攻めてきたできごとである。1度目の戦い、2度目の戦いをそれぞれ何というか。

□1度目() □2度目()

- ② 資料Ⅲの絵について正しく述べたものを次から選び、記号で答えなさい。

□()

ア 日本軍は集団戦法をとり、元軍は火器を用いている。

イ 日本軍は集団戦法をとり、元軍は一騎打ちの戦法をとっている。

ウ 日本軍は一騎打ちの戦法をとり、元軍は火器を用いている。

エ 日本軍と元軍はともに集団戦法をとり、火器を用いている。

- ③ 資料Ⅲは、御家人の竹崎季長が描かせたものといわれている。この資料を描かせたのはどのような理由からだと考えられるか。簡単に答えなさい。

□()

(4) 史料Ⅳは、1297年に出された法律である。史料Ⅳについて、次の問いに答えなさい。

- ① 史料Ⅳに示されたこの法律を何というか。

□()

- ② この法律が出された目的を、「御家人」という語句を用いて簡単に答えなさい。

□()

史料Ⅳ

- 質入れや売買した土地について領地を質に入れて流したり、売買したりすることは、御家人たちが落ちぶれるもとであるので、今後はいっさいやめよ。次に御家人以外の武士や一般の者が御家人から買った領地は、20年以上たっていても、返すこと。

(一部要約)